

平成23年度事業計画

I. 基本方針

- ・ 富山地域の経済は、依然厳しい状況にあるものの、引き続き持ち直してきておりますが、先行きについては、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然残っていること、また、3月11日に発生した未曾有の地震災害「東北地方太平洋沖地震」による影響が予想されるなど、富山地域のみならず、日本全体が大変厳しい状況下におかれることが懸念されています。
- ・ 当社を取り巻く経営環境も、これまで「環境」や「鉄道ブーム」に支えられ好調に推移してまいりましたが、広告収入等に企業業績の影響が出始めており、昨年以上に厳しい状況になると思われまます。
- ・ このような状況下ですが、当社といたしましては、平成23年度事業においては、開業以来の基本方針である「安全・安心・快適輸送の確保」、「収益力の向上」そして地域から愛される「魅力の向上」に向け、各種施策に積極的に取り組んでまいります。
- ・ 今冬の記録的大雪による運休を教訓とし、定時運行の確保のため、より効果的な除雪体制や、万が一のための代替バス手配体制の整備等について努めてまいります。
- ・ また、営業面につきましては、経営の合理化や効率化を一層推進するとともに、国等の補助制度も積極的に活用することにより、より強固な経営基盤の確立を図ってまいります。
- ・ さらに、これまでも地域に密着した公共交通機関となるよう、地域でのイベント等を重ねてまいりましたが、今後も地域の皆さんの日常の足としてこれまで以上に親しまれるよう、各種の取組みを継続し、魅力ある鉄道を目指してまいります。

【年 度 目 標】

- ・ お客様の信頼をより強固なものとするため、「安全は輸送業務の最大の使命である」ことを基本に、より一層地域に密着した「安全・安心・快適輸送の確保」を図る。
- ・ 永続的かつ健全な経営のため、収益力の強化を図る。
- ・ 地域から愛される鉄道を目指し、魅力的で親しみの持てる事業の推進を図る。

Ⅱ. 目標項目毎の具体的施策

1. 安全・安心・快適輸送の確保

(1) 鉄軌道施設の整備

①鉄道区間の施設の整備（城川原～東岩瀬間の一部区間 800m）

振動・騒音の抑制及び保守作業の軽減を図り、安全と快適な旅客輸送を目指し、木製の枕木をコンクリート枕木へ交換する工事や25メートルレール2本を溶接し長尺化する工事を新年度も継続して実施してまいります。

②踏切保安設備の整備（高島踏切）

老朽化した踏切遮断機の制御装置等の更新を順次実施し、確実な動作を確保することにより踏切事故を防止し、列車の安全・安定運行の確保を図ってまいります。

③軌道区間信号設備予備品購入

雷害等の不測の事態に備えるため、富山駅北、牛島交差点、奥田中学校前の信号設備の予備品の購入を行います。

④冬期間の安定輸送確保

気象情報の早期把握と迅速な除雪手配を行うとともに、軌道除雪車の運行訓練やより効果的な除雪アタッチメントの装着、ポイント不転換等の線路障害防止のための巡回点検を実施するなど、冬期間の安定輸送確保に努めてまいります。

また、不測の事態に利用者の皆様への影響を最小限にするため、代替バスの手配体制を整備いたします。

⑤乗車マナーの向上

乗車マナー向上に向け、列車内における座席の譲り合いや携帯電話の使用に関するアナウンス等の取り組みを引き続き実施し、車内環境の快適化に努めてまいります。

(2) フィーダーバス

フィーダーバスの利用率の向上目指して、沿線の自治振興会等に対して、利用促進のお願いをするとともに、適正な運営コスト・サービス水準となるよう運行委託内容の検討を進めてまいります。

(3) 安全体制の確立

①安全管理規定の徹底

輸送の安全に関する体制強化に向け「安全管理会議」を適宜開催するとともに、運転手との意見交換会や研修会も積極的に活用し、全社員の安全規律の徹底と意識の高揚に努めてまいります。

②事故防止施策の推進

事故防止の観点から、踏切保安装置や信号連動装置など安全に係る設備の設置・改良や既存設備の総点検、踏切事故防止キャンペーンを実施し、事故の未然防止を図ってまいります。

③事故・災害対策の確立

事故や災害発生時の緊急体制が円滑に機能するよう、マニュアル類を再点検すると同時に、起こり得る事態を想定した実践的な訓練の実施や関係機関との連携を強化し、危機管理体制の強化を図ってまいります。

2. 収益力の強化

(1) 業務運営の効率化と経費の節減

従来からの契約や委託内容を見直し、新工法や新しい技術の情報収集も積極的に行い、マンネリにおちいることなく、業務の適正化・合理化に取り組んでまいります。

また、国の補助金制度も積極的に活用し、収入確保に努めてまいります。

(2) ICカード「パスカ」の利用促進

パスカにつきましては、富山地方鉄道㈱のICカード「えこまいか」との相互利用を積極的に推進してまいります。

また、パスカの商業利用や拡大化についても調査研究してまいりたいと考えております。

(3) 臨時列車等の運行

年末年始や沿線の祭事等にあわせ、臨時列車の運行や終電時間の延長を実施するなど、お客様のニーズに合った柔軟な運行を行うことにより利便性の向上を図ります。

また、各種団体向けに貸切列車を運行するほか、貸切列車を駅北に留置し展示場として活用することなどを提案してまいります。

(4) 広告収入とグッズ収入の確保

① 現行広告収入の確保充実

企業の業績が低迷し、企業の広告費用が減少しておりますが「プラットフォーム広告（電停背面）」「電停構内広告（電停正面）」「車内放送広告」などに「空き」が生じないよう営業に努め、収入の確保を図ってまいります。

② グッズ収入の拡大

既存商品の中でも、利益率の低い商品の見直しを行うとともに、販売の効率化を図ってまいります。

(5) 富山市公共交通利用促進推進事業

国の景気対策事業である「ふるさと雇用再生特別交付金」を活用し、契約社員 2 名を引き続き雇用し、公共交通の利用促進と活性化事業を実施してまいります。

この事業では、公共交通沿線を活性化するため、ホームページでのブログ更新や沿線ガイドブックの作成、装飾車両のデザイン等を行うこととしております。

(6) 公共交通乗務アテンダント設置事業

国の景気対策事業である「緊急雇用創出事業」を活用し、ポートルラム・アテンダント4名を引き続き採用し、高齢者等の乗降介助・市内観光PR等を行います。

3. 魅力の向上

(1) 接遇の向上

当社では、ワンマン運行していることから運転手の接遇態度が当社のイメージを大きく左右いたします。このことから、従来の乗務員研修に加えて、乗務員の他社視察等を実施するなどして、サービス水準の向上を図ってまいります。

(2) 企画車両等イベントの充実

「クリスマス企画」「バレンタイン企画」等の時の話題に合ったイベントをタイムリーに実施するとともに、これらイベントを「鉄道と地域の話題」としてマスコミ等へも提供し、単なる移動手段ではなく、楽しめる鉄道会社となるよう努めてまいります。

(3) 沿線緑化の維持

車窓景観向上のため線路沿いに植栽したアジサイやヤマブキ等のほか下奥井駅前花壇や富山港線を育てる会が電停に設置されたフラワーポット等を沿線の皆様の協力も得ながら維持してまいりたいと考えております。

(4) 視察者・観光客の積極的受け入れ

県内外からの視察者を積極的に受け入れるほか、市の外国人宿泊者や県外からの旅行者のための各種優待制度を活用し、新規観光客の誘致や受け入れを積極的に推進してまいります。

また、富岩運河に就航する県や市所有のエコボートとは周遊券を発行し新たな観光資源として提携してまいります。

(5) 良好な企業イメージの醸成

富山ライトレールに対する理解の浸透を図るため、新聞やテレビ、雑誌、インターネットホームページ等の媒体を活用した広報活動を積極的に展開し、皆様から親しまれる交通機関となるよう努めてまいります。

(6) パーク・アンド・ライド

市が管理運営している蓮町駐車場（23台）につきましては、パーク・アンド・ライド用の駐車場として、市と連携を図りながら、引き続き、利用者の利便性向上に努めてまいります。